

平成30年7月発行



平成30年度 第11回総会を開催しました

去る5月27日（日）栗東ウィングプラザにおきまして
第11回通常総会を開催しました。

ご来賓として草津、守山、野洲、栗東の各市からご出席いただき、泉理事長の挨拶のあと、蛭の里所長 松並様に議長をお願いし、「平成29年度事業報告と決算の承認」・「平成30年度事業計画（案）」・「活動予算（案）」についてご審議をいただきました。



泉理事長挨拶

平成30年度事業計画

「重点目標」

- (1) 本人の意思を尊重した権利擁護支援に取り組みます。
(行政や関係機関等と連携、協働し、支援のネットワークに努めます。)
- (2) 権利擁護支援としての成年後見制度利用促進に努めます。
(地域における権利擁護支援への意識の高揚と成年後見制度の啓発活動に取り組みます。)
- (3) 職員一人ひとりが主体的に業務に取り組めるよう、研修会への参加や内部研修に努めます。

「事業別計画」

- (1) 成年後見制度利用促進事業（草津市、守山市、野洲市、栗東市からの受託事業）
高齢者、障害者の権利擁護や成年後見制度に関する相談に応じ、行政や関係機関などとの連携を図りながら、成年後見制度の利用が必要な方々への申立支援に努めます。
- (2) 成年後見制度普及・啓発事業（草津市、守山市、野洲市、栗東市からの受託事業）
高齢者・障害者の虐待防止と権利擁護支援と成年後見制度に関する講演会・研修会・出前講座などを開催します。
- (3) その他の事業
なんでも相談会（10月21日（日） 13:30～16:00）守山市すこやかセンター
- (4) 出張相談会
守山市・野洲市・栗東市の各会場で年間2回ずつ開催します。
- (5) 法人後見事業
ご本人に寄り添いながら意思を尊重し、合理的配慮に基づき権利擁護支援としての後見活動を行います。

平成29年度活動実績

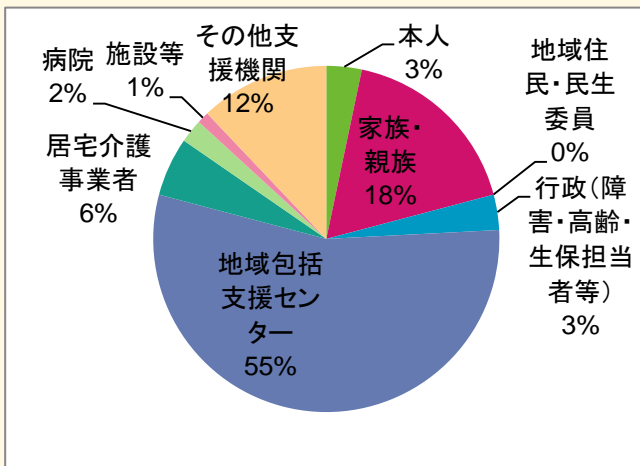
相談活動

相談内容		件数	(内)成年後見 利用支援
権利侵害	虐待	5	(4)
	経済的被害	1	(1)
財産の管理に関すること		114	(58)
生活に関すること		68	(32)
相続に関すること		1	(1)
後見事務		0	(0)
合計		189	(96)

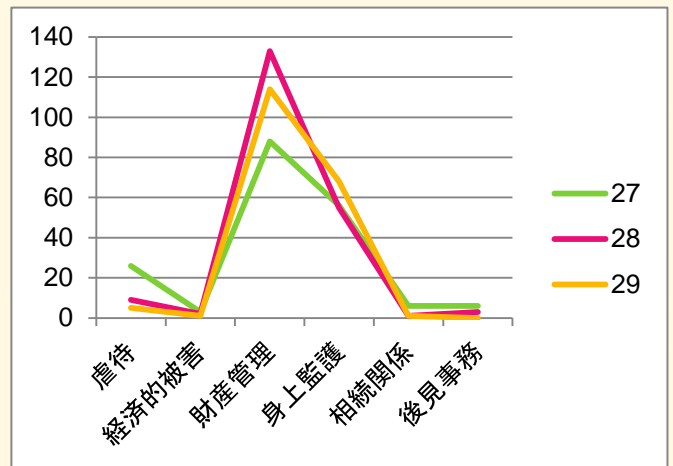
啓発活動

事業名	回数 (参加数)
講演会	1(77)
高齢者・障がい者なんでも相談会	1(11)
研修会・出前講座	6
出張相談会(3市3会場)	6(19)
もだま通信発行	4
ホームページの更新	随時

相談活動件数



相談者内訳



法人後見等受任事業

	区分	草津市	守山市	栗東市	野洲市	他市	合計
後見	高齢	18	3	2	6	0	29
	障害	7	5	2	1	8	23
保佐	高齢	1	0	1	2	0	4
	障害	6	3	0	1	1	11
補助	高齢	3	1	0	1	0	5
	障害	1	0	0	0	0	1
小計	高齢	22	4	3	9	0	38
	障害	14	8	2	2	9	35
合計		36	12	5	11	9	73

(参考)

相談支援活動において
成年後見利用支援した
(96件)内で専門職が
後見人等として選任さ
れた件数

弁護士:5

司法書士:22

社会福祉士:27

計54件

講演会 『精神障がい者や認知症高齢者を地域で支える』

龍谷大学教授 荒田 寛 氏 (もだま理事)

通常総会后、精神障がい者や認知症高齢者を取り巻く環境や現状から見える課題、そして精神病院など社会福祉現場での経験を通して実践されている活動など限られた時間ではありましたが、貴重なお話をお聞きしました。

認知症の理解として、脳の病気である、知能が衰退する、生活に影響し、行方不明や不潔な行為、不眠や昼夜逆転など問題行動があげられる。しかし、すべての行動には意味があり個々人の世界を持っている。このような世界をどのように理解するか。こうした行動を問題行動ということが問題 という言葉が印象に残りました。

精神障がい者への理解においては、病者や障がい者である前に生活のしづらさを抱えた生活者（人）であるという視点が大切だということ。精神保健福祉のネットワークに乗せることだけが支援ではなく、対象者をどう理解するか、障害や症状の変化だけでなく、その人らしく生きることを考えるというお話でした。

最後に先生のご経験から、認知症の女性が施設では大きな声で職員の対応に拒否的な態度をとっておられたが、本人の意思を尊重した根気強い職員やボランティアの対応で、穏やかな笑顔や冗談も話される様子のビデオを見せていただき、認知症の方がこうも変わるのかと驚きました。

支援される側もする側も様々です。方法や手法もいろいろです。人と関わって実践を通して学ぶことを再認識しました。



アンケートから

- ・丁寧な関わりで病状や状態が改善しその人らしさが取り戻せるのだと感じた。
 - ・地域で支え合って生活することに大きな意味があることを知った。
 - ・精神障がいの方の生活のしづらさをどう支援するのは大変難しい。
 - ・地域で支える、連携とはどういうことなのか具体的に教えてほしい。
- 等々・・・

出前講座報告 (その1)

先日、草津市のシニア女性の集まりに、講師として成年後見制度の説明をさせて頂きました。

参加させていただいたこの会合は茶話会の延長線上のようなフランクな座談会形式の研修会でしたので、各々が抱えておられる「成年後見制度」について知りたいことや、制度を利用するにあたっての不安、申し立てのタイミングはいつか、などの質問にお一人ずつお答えするというものでした。

この研修会の資料の副題に「敷居が高い成年後見制度について聞いてみよう」と記載されていたのですが、会員の方々がそれまで「敷居が高い」と感じておられた点については、少しは払拭できたのではないかと思います。身近な話題として「成年後見制度」を気軽に話せる場で取り上げていただき、そこに参加させてもらったことはとても良い機会だったと感じています。

高齢者・障がい者

なんでも相談会のお知らせ

どうぞお気軽に

お越し下さい

高齢の方や障がいのある方、そのご家族、福祉現場等で支援している方々が抱えておられる悩み、心配事、不安など、なんでもご相談いただける『なんでも相談会』を開催いたします。

法律や福祉などについてのご相談を時間無制限でお受けします。

開催日時	平成30年10月21日(日) 13:30~16:00 (受付13:00)
会場	守山市すこやかセンター
対象者	湖南4市(草津市・守山市・栗東市・野洲市)にお住まいの方
※弁護士・司法書士・社会福祉士・社会保険労務士などの専門職や、相談支援団体や、各市行政など福祉に携わる関係機関の職員もご相談をお受けします。	

後見活動日誌

70代女性のTさんはお一人暮らしで、週4回のデイサービスに通われ、合い間に訪問介護サービスを受けておられます。先日担当のケアマネさんから「Tさんがデイサービスの活動中に足が痛くて動けないとおっしゃっている」と連絡があり、急いで一緒に病院に行きました。診察の結果、骨折で安静治療が必要と診断されましたが、一人暮らしでは難しいのではと担当医の計らいで入院となりました。早速この結果をケアマネさんに報告し、入院準備をヘルパーさんに依頼、入院手続きや入院中の洗濯の手配などを行いました。ご本人はきっと足は痛いはずなのに、看護師さんや他の患者さんに気さくに声をかけ、気丈に振舞っておられました。現在もにぎやかに入院をされています。言いたいことははっきりおっしゃるTさんに、たまに叱られながらもしっかりと寄り添っていかうと思っています。

出前講座報告 (その2)

守山市社会福祉協議会で地域福祉権利擁護事業を担当されている生活支援員さんを対象に『成年後見制度について』の研修をさせていただきました。

成年後見制度についての研修講師は初めてで緊張しましたが、普段から生活支援員としてご活躍されている方々でしたので、暖かく見守って下さりなごやかな雰囲気でお話させていただくことができました。質疑応答では、権利擁護事業利用者が成年後見制度利用に切り替わるタイミングについてや、死亡後事務など普段の業務を通しての質問が多く、参加者の熱意と活躍ぶりを伺う中で、自分自身が励まされまだまだ精進しなければと反省するいい機会をもらうことができました。

「もだま」の活動趣旨にご賛同いただける方を募集しています。

個人、団体を問わず皆様の入会を心よりお待ちしております。

☆会員募集☆

正会員年会費

個人 1口 3,000円

団体 1口 10,000円

賛助会員年会費

個人 1口 2,000円

団体 1口 5,000円